

財政規則審査会議事業計画

財政規則審査会議 議長 山本 和明

公益法人格に移行してから10年が経過する中で我々の公益法人に対する知識は向上していますが、国際化を進める我々が持続可能な組織として安定した運営を行ううえで、主たる財源であるメンバー会費だけでなく、持続的な外部資金導入が重要となります。我々が公益法人格としての利点を理解し積極的な資金獲得に繋がるよう、公益法人としての品格を守りながら外部から協賛していただける仕組みづくりを構築していくことが必要です。

まずは、各事業が限られた予算の中で最大限のパフォーマンスをもって事業目的を達成するために、予算及び決算の費用対効果を重視しながら外部収入を得て行う事業の立案に繋がるような財政審査会議を行うことで、内部資金に依存しない安定した財政基盤の構築に繋がります。そして、長い歴史の中で構築されてきたLOMとしての品格を維持し続けるために、定款の運営の原則に基づいた規程を遵守し厳正中立な立場で徹底した規則審査を行うことで、我々の社会倫理が醸成され堅実な組織となり、市民からより一層の信頼を得られます。さらに、中長期的に安定した外部資金確保の仕組みを作り出すために、公益法人としての利点を活かしながら、協賛者にも明確なメリットのある資金の獲得方法を学び重要性を再確認することで、LOM独自の手順とルールが備わった資金獲得の手段が確立されます。また、国際色豊かなまちの実現に向けて課題に多角的に臨んでいくために、昨年度のLOMの掲げた想いを引き継ぎ公益事業目的の追加を推し進めることで、我々一人ひとりの視野が広がり、まちに対してより多様性をもった活動ができる組織となります。

想いを繋ぎ未来を見据えた高い公益性と透明性のある事業が市民に強い影響を与え、より信頼された我々は、協賛者にも互恵的メリットのある継続的な外部資金獲得の仕組みと、収益性の高い事業が生み出され、健全かつ安定した持続可能な組織基盤が形成されます。

〈事業計画〉

1. 収益性を見極めた財政審査会議
2. 厳正中立な立場で徹底した規則審査会議
3. 外部資金獲得に向けた事業の開催
4. 想いを繋ぐ公益事業目的の追加推進